

年度:2019年 LOM番号:032

【褒賞申請書】

事業名称	あきたの魅力発信事業
カテゴリー	最優秀LOM地域社会向上プログラム

申請LOM	東北地区秋田ブロック秋田青年会議所
LOMの人数	88名
理事長名	林 徳彦
担当者名	松本 剛
担当者携帯番号	担当者E-Mail akitatenpokikaku@nifty.com
事務局住所	秋田県秋田市山王 2 丁目 1 番 54 号 三交ビル 3F
事務局TEL	018-824-7070 事務局FAX 018-824-7071

本事業の参加者	会員数	33 名
	関係者数	15 名
	一般参加者数	89 名
事業実施に至る背景 400文字程度	近年の社会環境の変化により、人口減少、経済の低迷など様々な課題を抱えるあきたにおいて、地域の活性化を図ることは必要不可欠です。そのためには地域に根ざした魅力にそこに住み暮らす人々が目を向け誇りに感じ、さらにその魅力を広く伝播させていく必要があります。	
事業目的 400文字程度	地域に根ざした誇るべきあきたの魅力を発信し地域活性化の一助とします。	

<b>SDG'sの該当項目</b>	(SDG'sの該当項目を記載) 11 住み続けられるまちづくりを	
<b>事業概要</b>  400文字程度	「あきた魅力学校」と題して、「あきたの言葉」「あきたの木」「あきたの米」「あきたの工芸品」「あきたの民俗芸能」の5つのあきたの魅力を授業形式で発信しました。各授業はそれぞれの道に精通したプロフェッショナルの講師の方々にご担当していただき、「あきたの言葉」「あきたの木」の授業は小学生とその親を、「あきたの工芸品」「あきたの民俗芸能」は大人を「あきたの米」の授業は参加者全員を対象としました。また、メディアやYouTubeを利用して参加者以外にも広くあきたの魅力を発信しました。	
<b>開催期間・ タイムスケジュール</b>	2018年6月10日(日) 10:00~14:10	
<b>開催場所</b>	旧秋田市立上新城中学校(廃校) 現 農山村地域活性化センター(さとぴあ)	
<b>事業区分</b>	新規	
<b>公益・共益区分</b>	公益事業	
<b>事業総予算・収支</b>	予算計:526,000円 支出計:502,870円	
<b>協力団体</b>	<b>共催</b>	
	<b>協賛</b>	
	<b>後援</b>	秋田市、秋田市教育委員会
	<b>その他</b>	
<b>事業対象者</b>	秋田 JC 活動エリアに住む親子、大人	
	地域に根ざした魅力、人々の地域への愛着、魅力の認識をデータ検索、ア	

<p><b>行動</b> (ACTION TAKEN) 400文字程度</p>	<p>アンケートで調査し、あきたの魅力の豊さと、それに反して地域の人々の魅力への認識の低さを確認しました。会議では事業で発信するあきたの魅力とその発信方法を検討し、地域の身近にあることで当たり前になっている魅力を発信することに決定しました。事業当日は、「あきたの言葉」では漫画を使ったクイズなどを利用し、秋田弁の魅力を伝えました。「あきたの木」では秋田の木についての講義の後に、皆であきたの様々な木を組み合わせることで木々の魅力を伝えました。「あきたの工芸品」では秋田の土を使った陶芸体験とあきたの工芸品の多彩さの講義を行いました。「あきたの民俗芸能」では秋田万歳の演技を披露しあきたの民俗芸能の奥深さを伝えました。「あきたの米」では参加者全員を対象に米の講義をした後、地元農家の方々のご協力を得て秋田産の餅米を使い餅つきをし、昼食にしました。</p> <p>後日、「あきた魅力学校」YouTube版を利用し広く発信しました。</p>
<p><b>結果</b> (RESULT)</p>	<p>事業の検証は、事業当日に参加者の方々よりアンケートを書きいただきました。事前に取材の要請をしていたテレビ局2社が当日取材のため来場し、当日と翌日に事業の様子と内容がニュースで放映されました。</p> <p>事業には多くの参加者にご来場いただきました。又、YouTubeの発信でも多くの視聴を得ることができ、テレビ放送でも夕方の時間ということで大きな発信効果がありました。</p> <p>参加者アンケートにおいては、楽しみながらあきたの魅力に触れたことで地域の魅力に興味を湧き、今後も様々なあきたの魅力に触れてみたいという意見が大多数でした。それらのことから事業の目的は達成できたと考えます。</p>
<p><b>地域社会への影響</b> 400文字程度</p>	<p>地域住民が住み暮らす地域の魅力を再認識することで、地域への愛着が向上した。</p> <p>事業当日、地元の農家の方々や小学生にボランティアで参加していただき地域住民同士の交流が生まれました。</p> <p>廃校を活用することで地域設備の有効利用の事例になりました。</p>
<p><b>LOMへの影響</b> 400文字程度</p>	<p>あきたの魅力を調査して発信することにより、メンバーも地域の魅力を再認識するきっかけになりました。</p> <p>地域の人々の協力を得ることで交流の機会にもなりました。</p> <p>行政と連携したことにより行政との協力関係が構築できました。</p>

<b>事業の長期的な影響</b>  400文字程度	地域住民が住み暮らす地域の魅力を再認識することで、地域の産業・文化が活性化する影響があります。 あきたの魅力に触れた地域の人々が地域への愛着を持ち、定住意識につながります。 地域の人々が自らあきたの魅力を発信することにつながり、県外・国外にあきたの魅力が伝播します。
<b>考察や推奨</b>  400文字程度	地域の魅力は存在を知っていてもその魅力に気が付くためには、そこに目を向け触れてみる必要があります。 あきたの魅力はまだ多くあり、今後も地域の発展のために発信し続ける必要があります、その手法としては、当事業のようにその道に精通した専門家を通して発信することが有効であると考えられます。
<b>改善点</b>	大人向けの授業の参加者が親子向けの授業に比べて少なかったです。 秋田 JC 活動エリアの学校への告知の他に、大人の方々が集う場所にもポスターなどの告知をすることが必要だと感じました。
<b>JCI活動計画の推進</b> <b>JCI VISION活動計画の推進</b> <b>JCI MISSION活動計画の推進</b>	(事業を通じて、行ったJCIIに関する推進活動を記入)
<b>添付資料</b>  PDF資料2MB、5ページ以内	(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)

## あきた魅力学校～楽しく学ぼう！プロフェッショナルの授業～ あきたの魅力発信事業

公益社団法人秋田青年会議所は2018年6月10日日曜日に「あきたの魅力発信事業」を旧上新城中学校（現・さとびあ）にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

このあきたの魅力発信事業は地域に根ざした誇るべきあきたの魅力を発信することを目的として開催されました。参加者にあきたの魅力を触れていただき、YouTubeでも事業を発信した結果、目的を達成する事ができました。

### あきたの魅力発信事業とは？

#### 詳細な事業内容

期日：2018年6月10日

会場：旧上新城中学校（現・さとびあ）

「あきた魅力学校」と題して、「あきたの言葉」「あきたの木」「あきたの米」「あきたの工芸品」「あきたの民俗芸能」の5つのあきたの魅力を授業形式で発信しました。各授業はそれぞれの道に精通したプロフェッショナルの講師の方々にご担当していただき、「あきたの言葉」「あきたの木」の授業は小学生とその親を、「あきたの工芸品」「あきたの民俗芸能」は大人を「あきたの米」の授業は参加者全員を対象としました。また、メディアやYouTubeを利用して参加者以外にも広くあきたの魅力を発信しました。



# あきた魅力学校～プロフェッショナルの授業～

事業様子写真

①「あきたの木」の授業



④「あきたの民族芸能」の授業



②「あきたの言葉」の授業



⑤「あきたの工芸品」の授業



③「あきたの米」の授業

